



長野県福祉大学校便り

令和7年3月
第26号

令和6年度 長野県福祉大学校卒業式が3月5日(水)に執り行われ、保育学科42名、介護福祉学科17名、計59名が、それぞれの夢に向かって羽ばたいていきました。支えていただいた多くの皆様のおかげで、それぞれが成長し、この佳き日を迎えることができました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



長野県福祉大学校 卒業式



㊦ 全国保育士養成協議会
会長表彰

松井 彩

今回、会長表彰をいただける事をとても光栄に感じています。

この2年間はレポートやスクーリング、科目試験、ピアノや実習などに追われる忙しい日々でした。それでもこの2年を乗り越える事が出来たのは、共に励まし合い、高め合っていく事が出来る仲間が存在があったからだと思っています。

先生方からの厳しくも温かいご指導や、実習での子ども達の笑顔から、子どもと関わっていく事の楽しさやそれに伴う責任感の重さを身に染みて感じました。

福祉大学校で学んだ事を糧にこれからの人生を歩んでいきたいと思います。ありがとうございました。



令和6年度 卒業生進路

(令和7年3月7日現在)

	保育学科	介護福祉学科
公立保育所	21名	3名
私立保育所	1名	
幼稚園・認定こども園	1名	
児童福祉施設 等	6名	2名
社会福祉施設 等		11名
進学(本校介護福祉学科)	12名	
その他	1名	1名
卒業生数	42名	17名



福祉大学校支援する会 会長と福祉大学校「白樺賞」受賞者



保育学科1年

入 学してから、新たな仲間と、講義! 演習! 実習! 文化祭に卒音! レポート! スクーリング! などなど様々なことを経験し、「忙しい」と言いつつも、多くのことを乗り越えて来ました。皆さん自身とても成長を感じていると思います。2年生になるといよいよ進路を考えて行かなければなりません。一人ひとりが強い意志を持ち、皆で支え合いながら夢の実現へ向けて力強く進んで行って欲しいと思います。

担任 春日 聡

初めての实習

清水 姫菜

初めての実習ということもあり、利用者の方々や子どもたちが私を受け入れてくれるのか、日誌が書けるのかなど緊張や不安でいっぱいでしたが、色々関わらううちに自然と不安が消え、あっという間に実習を終えることができました。

特に印象に残っているのは、一人ひとりの子どもへの寄り添い方です。子どもの「やりたい」という気持ちを尊重し、一緒に取り組むことで、成長や自信につながるのだと実感しました。また自分自身が冷静に笑顔で接することが何よりも重要だと感じました。



卒業記念音楽会

柄澤 結乃

1年間の集大成となる卒業記念音楽会が先日行われました。

とても大きなホールで、緊張や不安もありましたが何となく気もちの高まりも感じました。音楽会近くまで実習があり、全員揃っての練習が少なかったですが、強化練習を通して綺麗な合唱を作りあげることができました。

当日、学年毎の合唱ではクラスの皆の練習の成果が出たと思います。また卒業される先輩方は、とても心を込めた合唱で思わず涙が出るほど感動しました。

来年度、私はこの会の副委員長となります。先輩方に教えて頂いたことを活かし素晴らしい音楽会にできるよう、励んでいきたいと思っています。

1年間を終えて

進藤 菜月



入学後1年間を振り返ってみると、多くの学びと成長があったように思います。講義では子どもの発達や心理、保育の理論を基礎から学び、実習では施設や保育園で、実際に現場で子どもたちと触れ合う貴重な経験を得ました。また、ピアノや絵本、手遊びなど技術的なことを通じて表現力や創造力も磨かれました。

さらに仲間と行事や発表の準備などを行う中でコミュニケーションやチームワークの大切さなどを実感しました。大変な1年間でしたが、今思えばあっという間の1年間でした。これらを糧に2年生になっても日々努力していきたいです。

いぶき寮

山田 瑛羽

毎年2月の頃になると、いぶき寮では寮総会と卒業される先輩方の送別会が食堂で開かれます。寮総会では、1年のまとめとして改善点など沢山の意見が出ました。寮生全員で話し合いができ、良い時間となりました。送別会では、1年間お世話になった先輩方に感謝の気持ちを込めて、色紙とプレゼントを贈り別れを惜しみました。

先輩方とのお別れは寂しい気持ちでいっぱいですが、これまでのように明るく、楽しい笑顔あふれるいぶき寮になるよう目指して、新入生を迎え入れていきたいと思っています。



いぶき寮



保育学科 2 年

祝 福祉大学校を支援する会「白樺賞」



日下部 杏佳

私は「保育における絵本の役割」をテーマに研究を行いました。この研究を通して保育学科での学びや実習に加えて、絵本への理解がより深まりました。

今回このように白樺賞をいただくことができ、達成感と感謝の気持ちでいっぱいです。

4月からは介護福祉学科での学びがスタートします。保育学科での学びを活かし、この気持ちを忘れずに福祉のプロを目指して、さらに学びを深めていきたいと思っています。

祝 長野県福祉大学校長賞

池田 衣吹

福祉大に入学してからこれまで、実習やレポートなど忙しく大変だと感じることも多かったですが、福祉大で出会った友人や先生方、子どもたちに支えられながら毎日を楽しく過ごすことができました。充実していても濃く2年間だったと感じます。4月からは保育士として働き始めます。学んでいく中で見つけた自分の理想とする保育士になれるよう、福祉大での学びと思い出を胸に日々楽しみながら頑張っていきたいです。



創作ミュージカル舞台監督 三浦 琴葉



今年の卒業記念音楽会は、例年と異なりカノラホールという大きな舞台で、多くの方々に足を運んでいただきました。

2年生の創作ミュージカルは、限られた時間の中で、試行錯誤しながら協力して創り上げました。ゴミ問題をテーマにしたことで、見ている方々も考えながら楽しんで頂けたのではないかと思います。

個性豊かな30期生、携わってくださった全ての方々に感謝しています。ありがとうございました！

ミュージカルでの経験を活かして、それぞれの場所で頑張ろう！
えいえいおー！

この2年間は、楽しいこともあれば、つらく苦しく、思うようにいかない日々もあったことでしょう。30期生の仲間と出会い、何気ない日常を過ごしたこと、創作ミュージカルに取り組んだこと、共に笑い合い、時には嘆いたこと—そのすべてがみなさんにとって二度と戻ることのない輝かしい学生生活そのものだったのでしょうか。

そんな日々を送るみなさんの近くで過ごせたことに心から感謝しています。みなさんのこれからの人生に幸多きことを願っています。

担任 松浦 亜紀子

卒業式答辞

荻原 綺女



福祉大に入学してからの2年間はあっという間でした。福祉大保育園での演習やレポート課題、実習など次から次へと新たな学びを得た毎日でした。何度も挫折そうになりましたが、先生方の支えや30期生の仲間が存在が大きな力となり乗り越えることができたと感じています。素敵な仲間と過ごした日々は宝物です。

物です。

4月からは介護福祉学科に進学し、新たな学びが始まります。保育との違いに戸惑うこともあるかと思いますが、福祉分野のプロフェッショナルになれるよう、実践的な学びを大切にしていきたいです。

祝 長野県福祉大学校長賞

小林 晴香



この度、校長賞を受賞することかでき大変嬉しく思います。福祉大に入学してからの生活を振り返ってみると、保育士という夢に向かってひたすら努力することが出来た2年間だったと感じています。

私は、努力家で前向きな30期生のみんなと過ごす何気ない日常がとても大好きでした。楽しい時も大変な時も、みんなと励まし合いながらがんばれたことが、これから保育士として働く時の大きな自信に繋がると感じています。

福祉大での学びを活かし、たくさんの人を笑顔にできる保育士になります！ 30期生のみんな、ありがとう！



介護福祉学科

介護福祉学科30期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます！介護福祉学科での1年間は、これまでの学生生活とは比べものにならないくらい過密で内容の濃いものだったと思います。「大丈夫かな？」と心配させられながらも「ひとつずつ、ひとつずつ」と励まし合って全てを乗り越えてきましたね。とても成長したと思いますし、皆さんも実感があるのではないのでしょうか。介護福祉学科を卒業したことに自信と誇りを持って新たな道でさらなる成長をしていってください。期待しています。

介護福祉学科担任 水石 晃



祝 長野県介護福祉士会会長表彰 土橋 央奈

今回、このような表彰をいただけたことは望外の喜びです。

この1年間は、実習が主となった日々でした。同じ志を持って進学した16人の仲間にも会えない期間が長くありました。その度に、連絡をとり近況や励ましを伝え合い乗り越えることができました。

全員で実習後の振り返りをした際は、私にはない視点を仲間たちから気付かされ、学ぶことができ、私の視野も広げることができたと思います。

この1年間、支えてくださった先生方や仲間へ感謝したいです。

4月からは、福祉大での経験を活かし、現場でも学ぶ姿勢を忘れず、真摯に向き合っていく所存です。この度はありがとうございました。

祝 福祉大学校を支援する会「白樺賞」 森川 愛弓

私はこの1年間を通して、新しい引き出しをたくさん得ることができたと思います。「ふまねっと運動」という活動からは、認知症の方が安心できる環境や支援の在り方をより深めることができました。また、ここにも大丈夫という安心感を抱いてもらうために、日々の利用者との関わりがとても大切な時間だと実感しています。

事例研究をまとめるにあたり、協力してくださった担当利用者をはじめ施設の職員の方、先生方など多くの方の支えがあり、今回白樺賞を受賞することができたと思います。本当にありがとうございます。

福祉大学校で学んだことを糧に、これからも利用者との時間を大切に、感謝と学ぶ姿勢を忘れず頑張っていきます。



祝 長野県福祉大学校長賞 滝澤 花子

今回校長賞をいただくことができ、とても嬉しく思います。

福祉大学校で学んだ3年間は、技術や知識はもちろんですが、自主性や気遣い、個人を受容し尊重した関わり方など多くのことを学び、人として成長できた3年間だったと感じます。介護福祉学科で学んだ最後の1年は、実習が多く授業もみっちり、時には挫けそうになったこともありましたが、個性豊かな仲間、温かく寄り添ってくださる先生方に支えられて無事卒業することができました。

4月からは、夢だった保育士として社会に出ます。福祉大で身につけたことを活かし、福祉を担う1人として笑顔を忘れず地域に貢献していきたいと思っています。福祉大ありがとう！

